

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会

目 次

佐世保市社会福祉協議会事業報告	P
事業概要	・ ・ ・ ・ ・ 1
地域福祉推進事業	・ ・ ・ ・ ・ 2
【施設事業報告】	
介護事業所	・ ・ ・ ・ ・ 16
勝富授産場	・ ・ ・ ・ ・ 18
須佐保育園	・ ・ ・ ・ ・ 19
吉井北保育園	・ ・ ・ ・ ・ 21
児童センター	・ ・ ・ ・ ・ 23
老人福祉センターやすらぎ荘	・ ・ ・ ・ ・ 26
老人福祉センターあたご荘	・ ・ ・ ・ ・ 28
老人福祉センターよしい荘	・ ・ ・ ・ ・ 30
宇久高齢者生活福祉センター慈恵苑	・ ・ ・ ・ ・ 32
江迎高齢者生活福祉センター槇の木庵	・ ・ ・ ・ ・ 33
宇久地域包括支援センター	・ ・ ・ ・ ・ 34

平成29年度 事業報告

事業概要

近年急速に進む少子高齢化や核家族化に伴い、家族の形が大きく変化し、また家族と社会とのつながりが希薄になっているため、社会的孤立などによる家族が抱える生活課題が潜在化してしまい、解決の糸口を見いだせない世帯が増加している。

こうした課題解決に向け、本会においては、第2期佐世保市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、従来の地域福祉活動の促進に加え、生活困窮者自立相談支援事業、日常生活自立支援事業、成年後見センター事業、成年後見制度促進事業などの総合相談機能や生活支援の取り組みなど、個別支援の強化に取り組んだ。

地域支援としては、地域包括ケアシステムの構築に向けた、生活支援・介護予防の充実を推進することを目的とした「生活支援体制整備事業」を中里皆瀬地区において受託をするとともに、孤立・ひきこもりの防止、健康・生きがいづくり、交流や仲間づくり等を目的とした「ふれあいいきいきサロン」の新規開設や既存のサロン活動の支援を積極的に行った。

また、ふくし教育の理解と推進体制の整備を進めるために、社会的包摂を考える学習会の開催や、ふくし教育実践指針に基づくプログラムをモデル地区3地区及び新たに15地区で実施した。

民生委員制度創設100年という記念すべき節目の年であり、100周年記念事業の実行委員会の一員として、各種事業に連携協力し、無事終了することができた。

また、社会福祉協議会としても創立60周年を記念し、交流事業として「ふれあいいきいきサロン交流バッコ大会」、北部地区においては「三世代グラウンドゴルフ大会」ややすらぎ荘で「将棋大会」の開催を行った。

平成29年4月1日より施行された改正社会福祉法に則った定款や規程の変更、並びに役員体制の整備等、組織のガバナンス強化や透明性の向上を図った。

また、第3次発展・強化計画を策定し、社会福祉の担い手として、さらに高い公益性を担保し、質の高いサービスを提供できるよう職員間の情報共有や職員研修を行いながら、佐世保市社会福祉協議会の基本理念である、「市民一人ひとりが心豊かに安心して暮らせる福祉のまち」の実現を目指した。

地域福祉推進事業報告

1 自立支援を促すための取組み（個別支援）

（1）孤独から要支援者を守るための取組み

①話し相手ボランティア養成派遣事業

一人暮らしの高齢者などが孤独感や不安などを解消できるように、精神面を支え、心豊かな生活の支援を目的に実施した。

- ・養成講座 H29.5.18 させぼ市民活動交流プラザ 参加者 26 名
- ・フォローアップ研修 H29.6.21 させぼ市民活動交流プラザ 参加者 30 名
- H29.10.26 させぼ市民活動交流プラザ 参加者 14 名
- H30.2.23 させぼ市民活動交流プラザ 参加者 24 名
- ・派遣事業 活動件数 26 件（内新規 7 件） 延べ 194 回活動
- ・登録者数 124 名（内活動者 26 名）

（2）要支援者を資金的に支援するための取組み

①資金貸付事業

○長崎県生活福祉資金貸付事業

失業者世帯、低所得者世帯、高齢・障がい者世帯等の経済的自立や生活意欲の助長を促し、安定した生活を営むことを目的に資金貸付けを行った。

○佐世保市福祉資金貸付事業

市内に 1 年以上居住し、生活が困窮な世帯で、生活再建に必要な融資を他から受けることが困難な世帯を対象に、無利子で小口資金の貸付けを行った。

種 別	H29 年度		H28 年度	
	件数	実績額(円)	件数	実績額(円)
生 活 福 祉 資 金	139	109,123,000	107	52,392,000
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0
福 祉 資 金 (小 口 資 金)	287	6,148,000	348	7,287,000
計	426	115,271,000	455	59,679,000

②見舞金等配付事業

○災害罹災世帯への見舞金の支給

市内で発生した災害で被害を受けた被災者に対し見舞金及び弔慰金を支給した。

- ・火災見舞金 14 件（うち死亡弔慰金 2 件）

○福祉見舞金等の配付

歳末たすけあい募金の配分を受け、低所得世帯及び児童養護施設の入所児童等へ年末年始の生活支援のため見舞金を配付した。

区 分	配分額（円）	摘 要
低所得者世帯への見舞金事業	4,511,664	710 世帯
児童養護施設入所者への見舞金事業	246,000	82 名
子ども食堂実施団体への助成	121,000	4 団体
ホームレス支援団体への助成	150,000	1 団体
火災罹災者への見舞金	10,000	1 件
貸出用福祉機器の購入	318,781	サロン遊具
事務諸費	100,000	
計	5,457,445	

○要援護世帯の小学校児童・中学校生徒への修学旅行費の助成

要保護・準要保護世帯の小学校児童及び中学校生徒へ修学旅行費（おこづかい）を助成した。

- ・小学校児童 382 名（@2,000） 中学校生徒 389 名（@3,500）

（３）要支援者の権利を擁護するための取組み

①日常生活自立支援事業（県社協委託）

判断能力が十分でないために、地域で自立した生活ができない方（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等）を対象に、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の代行を行い、安心した生活ができるよう支援した。

- ・実利用者数 166 名（新規 39 名、解約 33 名）H30.3.31 現在
- ・専門員 4 名
- ・生活支援員 12 名

②させば成年後見センターの運営

認知高齢者、知的障がい、精神障がい等により判断能力が十分でない方に対し、家庭裁判所の選任により、佐世保市社協が成年後見人等となり、成年被後見人等が安心して生活を継続できるよう福祉サービス利用の契約等の支援を行った。

- ・問合せ件数 25 件 ・新規受任数 6 件

成年後見制度の実利用者数 14 件（補助 3 保佐 3 後見 8）H30.3.31 現在

③成年後見制度促進事業（市委託）

成年後見制度の一層の利用促進を図ることを目的として、市民後見人養成講座修了者を対象に成年後見制度の担い手となるよう育成・活用を行うこと及び成年後見体制の充実のため成年後見制度申立の支援を行った。

- ・養成講座修了者の市への登録者数 13 名
- ・フォローアップ研修の実施
日時：H29.12.17 参加人数：養成講座修了者 11 名
- ・成年後見制度の申立て支援人数 23 名（内、後見人等確定者数 8 名）

(4) 包括的・継続的な生活支援

①生活困窮者自立相談支援事業（市委託）

生活困窮者が経済的困窮状態や社会的孤立から脱却することを支援するため、相談窓口の設置、生活困窮者の把握、自立支援計画の作成、自立支援計画支援調整会議の開催などを行った。

- ・相談件数 748 件

対応内訳：情報提供など 396 件、他制度・他機関等へのつなぎ 240 件

本事業による継続支援 112 件

- ・自立支援計画作成件数 115 件

- ・支援調整会議開催回数 21 回

2 相互扶助を促すための取組み（小地域組織化への支援）

(1) 住民相互間の自立支援活動を通じた相互扶助の実現を支える取組み

①食事サービスへの助成

一人暮らしの高齢者や障がい者、高齢者夫婦世帯等を対象に、会食型や配食型の食事サービスを各地区の町内婦人部や福推協等が行っていることに対し、一食あたり 260 円を助成した。

また、食事サービスボランティアグループの活動に必要な専門知識の向上や料理に関する研修等を開催した。

- ・活動実績に応じた助成

56 グループ 対象者 2,805 名 延べ 14,826 食

- ・食事サービスグループ料理教室の開催

H30.1.30～2.6 計 5 カ所 参加者 65 名

- ・食事サービスリーダー研修の実施

H29.7.31 テーマ：「後期高齢者医療制度について」 参加者 49 名

(2) 要支援者からの自主的・自立的活動を通じた相互扶助の実現を支える取組み

①ふれあいネットワーク支援事業

○ふれあいネットワーク

要介護高齢者及び身体障がい者等に対して、近隣の住民を中心としたネットワーク化を図り、その構成員が対象者を訪問し、安否確認や日常生活を支援することにより、安心して生活できる環境を整え、住民へのボランティア意識の高揚と育成を図った。

- ・対象者 979 ネット
- ・構成員 3,106 名

○愛のコールサービス

一人暮らしの高齢者等に対し、定期的に電話をかけて安否確認をし、孤独感を和らげるとともに、様々な相談に応じるほか、地域や他の機関への援助活動へ繋がった。

- ・対象者 32 名
- ・ボランティア 8 名
- ・通話件数 年間延べ 705 回

②ふれあいいきいきサロンの支援・推進

○ふれあいいきいきサロン情報交換会の実施

サロン代表者やボランティア、福推協会長を対象に市内 3 か所で実施した。
(理学療法士より介護予防、リハビリテーションの考え方についての講話。)

- ・H29.7.3 江迎地区文化会館 参加者 32 名
- ・H29.8.10 山澄地区公民館 参加者 64 名
- ・H29.9.4 日宇地区公民館 参加者 31 名

○ふれあいいきいきサロンの開設の推進

福推協会長連絡会、地区総会、地区民児協定例会、町内役員会等でサロン活動の意義や必要性について、事例をもとに説明し開設をはたらきかけた。

また、サロン開設に向けたプログラムの内容や年間計画の作成支援をはじめ、福推協「地域ふれあい推進事業」による活動費の支援を行った。

運営費補助(1回 1,000 円、年間 12,000 円上限)、立ち上げ等の経費(1 地区 50,000 円上限)。

- ・サロン数 163 か所 新規開設 47 か所
- ・活動費の支援 24 地区福推協 活動費補助 916,000 円

※活動費補助には、新規事業の立ち上げに係る補助金を含む。

○ふれあいいきいきサロン・自主活動グループ(旧デイクラブ等)への支援

既存のいきいきサロン及び自主活動グループに対し、職員が訪問してレクリエーション等の実施や本会が所有する遊具の貸出を行った。

- ・職員訪問支援回数 414 回 遊具の貸出回数 917 件

③地域共生サロン(地域の居場所)づくり

地域住民が気軽に集い交流できる拠点として、世代や属性による対象を設けない「地域共生サロン」づくりを推進した。

新規に 5 か所開設(累計 10 か所)

- 江迎地区「赤坂陽光クラブ」
- 針尾地区「はりおハッピーサロン」
- 九十九地区「たわらんだサロン」
- 清水地区「サロン万徳」
- 早岐地区「地域交流拠点センターごちゃまぜ」

- ・希望団体に場所を開放し、団体主催による活動が実施された。

内容：100 歳体操、認知症カフェ、自閉症保護者の交流など。

3 地域の主体的活動を実践する取組み(地域福祉活動)

(1) 地域福祉(社会参加)を実現する地域の主体的活動を実践する取組み

①地区福祉推進協議会(福推協)との連携・支援

小地域における福祉活動や「地区地域福祉活動計画」の実践活動が着実に推進されるよう、地区担当職員が各地区の定例会や総会等へ参加して企画や提案、関係機関・団体との調整など、その地域の特色を活かした活動の支援に取り組んだ。

特に、いきいきサロンの立ち上げ等については積極的にはたらきかけを行い、新規サロンを増やすことにつながった。

また、福推協会長連絡会や福推協会長連絡会先進地視察研修会の開催をはじめ、福推協の構成員を対象とした研修会を市内6ブロックで開催し、福推協の役割の認識を深め、各地区における福推協活動の活性化に取り組んだ。

《福推協会長連絡会》

- ・H29.5.24 ふくし教育実践指針推進事業について他
- ・H29.11.8 福推協会長連絡会先進地視察研修会報告他
- ・H30.3.7 H30年度福推協会長連絡会事業計画、成年後見制度について他

《福推協会長連絡会先進地視察研修会》

- ・H29.9.14～15 下関市社会福祉協議会豊北地区社会福祉協議会・山口市社会福祉協議会 参加者 33 名

《福推協ブロック別研修会》

テーマⅠ：「高齢者の生活を支えるための地域づくり」

講師：佐世保市第1層生活支援コーディネーター 成富 努氏

事例発表：「生活支援体制整備事業の取り組みについて」

- ・H30.1.18 労働福祉センター 参加者 136 名
- 広田地区公民館 参加者 105 名

テーマⅡ：「子どもの貧困について考える」

講師：筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科准教授 大西 良氏

事例発表：「子ども食堂の取り組みを通じて」

- ・H30.1.30 相浦公会堂 参加者 138 名、吉井地区公民館 参加者 32 名

テーマⅢ：「認知症高齢者の社会問題」～認知症と共に生きる地域づくり～

講師：佐世保中央病院認知症疾患医療センター長 井手 芳彦氏

事例発表：「認知症の人たちを守る取り組みを通じて」

- ・H30.2.1 山澄地区公民館 参加者 82
- ・H30.2.8 清水地区公民館 参加者 114 名 参加者合計 607 名

②住民座談会の開催

地域住民の福祉ニーズを把握するための取り組みとして、6地区の福祉推進協議会で開催した（宮・早岐・潮見・清水・金比良・小佐々）。

③33地区福祉推進協議会の活動費の一部を助成

福祉推進協議会組織の強化と円滑な運営及び地域福祉活動を推進するための活動費の一部を助成した。

- ・社協会費還元金（地区の30%）、共同募金配分金（地区の5%） 2,607,800 円
- ・福推協「地域ふれあい推進事業」補助金 24地区福推協 916,000 円

（2）地域活性化モデル事業

高齢化が急速に進んでいる離島地域の黒島地区をモデルに、住民を主体とした自立性の高い地域福祉活動が行われる環境づくりを支援し、地区の課題解決に向け、地域によ

る実践活動が推進されるよう次の事業を実施した。

○「黒島ハッピー隊」の活動支援

- ・「地域共生サロン」（黒島ハッピーカフェ）の開催

H29.5.21 参加者 57 名 H29.8.13 参加者 107 名

H29.9.3 参加者 60 名 H29.12.3 参加者 45 名

- ・県外視察研修への参加を支援

H30.2.8～9 鹿児島県さつま町・霧島市 参加者 8 名（社協 4 名含む）

○公開講座の実施

- ・「虫歯予防教室」 H29.11.7

講師：佐世保市役所健康づくり課 歯科衛生士 北野久枝 氏 参加者 28 名

- ・「介護予防講座」 H29.11.7

講師：相浦地域包括支援センター 保健師 鷲田由香里 氏 参加者 28 名

- ・「在宅リハビリ推進員養成講座」 H30.3.17～18

講師：長崎リハ病院 医師 松坂誠鷹 氏・耀光リハ病院 PT 川嶋克之 氏
参加者 16 名

○黒島地区保健・医療・福祉連携会議の開催

島内で独自に介護予防活動を進めるため、保健・医療・福祉関係者及び住民によって構成する会議を開催した。（1 回開催 H29.9.15 出席者 13 名）

構成メンバー：医師、看護師、保健師、介護福祉士、民生委員児童委員、連合町内会長、ハッピー隊、市役所黒島支所、理学療法士、地域包括支援センター、デイサービスセンター

○くろしま健康づくりと介護予防推進プロジェクトの設置（会議実施）

「くろしま健康づくりと介護予防の島推進計画」を推進するために島内の必要なメンバーによるプロジェクトチームを設置し、会議等を実施した。

- ・会議 H29.5.10 出席者 18 名 H29.7.14 出席者 14 名

- ・三世代交流グラウンドゴルフ大会 H29.10.14 参加者 72 名

- ・地域通貨と相互扶助に関する調査 H29.5.15～31 標本数 65 歳以上 100 名

- ・ふくし教育学習会 H30.2.15 小・中学生及び保護者 参加者 38 名

○「NPO 法人フリースペースふきのとう」の活動支援（ソーシャルファーム）

ひきこもりの若者やその家族を支援する NPO 法人ふきのとうの活動を支援するために、黒島地区の荒廃農地での農作物作り、その販売を支援した。

- ・活動実績：計 6 回、内容：（玉ねぎ、パセリ、レタスの植えつけなど）

- ・戸尾商店街にオープンした「みんなのマルシェ星の風」の活動支援など

（3）生活支援体制整備事業（市委託）

地域包括ケアシステムの構築に向けた、生活支援・介護予防の充実を推進することを目的とした「生活支援体制整備事業」を受託し、中里皆瀬地区の 2 町内会（中里町下、皆瀬町 2 組）を含む地区内で取り組みを実施した。

- ・地区内における課題収集及びニーズ把握（意見交換会など）
- ・生活支援体制整備事業における協議体の開催（４回）
- ・町内の取り組み

皆瀬町 ２ 組：H29.6 より、かいぜ保育園及びかいぜ学童クラブにてサロンの開催
中里町下：H29.11 より、中里町下生活支援サービスボランティアを設立・活動

4 自立支援・相互扶助・地域活動を実践するために必要な基盤整備

（１）施設基盤整備

各施設の年度ごとの整備計画に基づき、施設の維持補修など、長寿命化に取り組んだ
また、本所の建替えについて、その適地選定のため、市役所の関係各課と情報交換を行った。

（２）情報基盤整備

①社会資源情報の収集整備（くらしに役立つ福祉情報ガイド）

ホームページ上に掲載している、佐世保市の福祉に関する相談窓口や各種福祉サービスに関する情報、NPO・市民活動団体等の情報を随時更新するとともに、新たな情報を掲載し、市民への福祉に関する情報提供に努めた。

②地域福祉カルテの作成

福推協を単位とする圏域において、基本情報（人口・高齢者人口他）、社会資源の状況、地理的特徴や交通・生活の利便性、地域の課題・特性などをまとめ、その地域に応じた既存の事業・活動の改善や新たなインフォーマルサービスなどを検討するための基礎資料として作成した地域福祉カルテの情報の定期更新に努めた。

（３）人材基盤整備

①ボランティアセンターの運営

市民のボランティア・NPO・市民活動への参加を広く呼びかけるとともに、活動が浸透するための事業や支援をしていくことで、市民のボランティアに対する理解、参加を促進し、地域の活性化につなげた。また、ボランティア活動者に対して定例会や電話、面接等でフォローアップを行い、意識向上につなげた。

- ・ボランティア登録者 個人 308 名・団体 51 グループ（3,279 名）
- ・ボランティアセンター別館研修室の貸出 利用者数 1,884 名（161 団体）

②ボランティア活動の支援

○ボランティアグループへの研修費補助

登録ボランティアグループ（登録 1 年以上）が実施する自主研修や、外部研修会参加に要する経費の一部を助成した。 10 グループ（517,000 円）

○ボランティア研修会等の開催

- ・ボランティア研修会の開催

(団体・リーダー向け)

H29.12.2 テーマ:「団体活動の魅力の上手な伝え方」講座

講師: NPO 法人 kid 's work 代表理事 大久保大助 氏 参加者 33 名

(個人向け)

H29.9.2~3 テーマ:「災害ボランティア研修会」

講師: 鳥取県日野ボランティア・ネットワーク 山下弘彦 氏

日本防災士会長崎県支部 支部長 旭 芳郎 氏

参加者 148 名 (2 日間延べ)

・ ボランティア入門講座の開催

H29.7.8 させぼ市民活動交流プラザ 参加者 29 名

H29.10.14 相浦地区公民館 参加者 29 名

○ ボランティア活動保険加入促進事業

ボランティア活動者がより安心して活動に取り組むための環境整備、援助を目的として、活動中の事故を補償するため、「ボランティア活動保険」への掛金の一部を助成した。(1 人当たり 100 円) 加入者 4,430 名

③ 福祉人材バンク (県社協委託)

○ 福祉人材無料職業紹介事業

広域的な福祉人材確保対策の推進を図るため、求職者への就職斡旋及び相談受付を行いながら、地域住民や社会福祉施設・事業所が福祉人材バンクを積極的に活用できるよう広報・啓発を行った。

- ・ 求人件数 344 件 求職登録者数 199 名 就職者数 101 名
- ・ 求人相談件数 4,241 件 求職相談件数 3,728 件
- ・ 特定求職者雇用開発助成金 (特定就職困難者コース) 申請件数 7 件
- ・ 特定求職者雇用開発助成金 (生涯現役コース) 申請件数 1 件

○ 福祉・介護の就職合同面談会

福祉職場への就職機会の拡大、県北の社会福祉施設・事業所等の人材確保の充実を図るため開催した。

- ・ JA させぼホール 参加者 43 名 採用者 8 名 就活セミナー参加者 18 名
- ・ 労働福祉センター 参加者 24 名 採用者 7 名

○ 福祉・介護の職場ミニ面談会

中途採用者を中心とした求人に対して、福祉職場への就職を希望する一般の方を対象に開催した。今回は、回数を増やして開催した。

- ・ 早岐地区公民館 参加者 14 名 採用者無し
- ・ ソレイユ吉井 参加者 8 名 採用者 1 名
- ・ 江迎ハローワーク 参加者 11 名 採用者 2 名
- ・ 労働福祉センター 参加者 29 名 採用者 6 名

○ 福祉・介護職場への就職セミナー

福祉職への就職希望者を対象に、福祉の仕事に関する講義や現場職員の説明により、福祉職場についての理解及び就職意欲の向上を図った。

・労働福祉センター 参加者 21 名 新規登録者 10 名

○高校等訪問事業

学校、県北地域の施設等訪問 869 か所、江迎ハローワーク出張相談 23 回

5 災害ボランティアに関する取組み

(1) 災害ボランティア活動推進事業

災害に備える減災活動、災害支援活動の演習を通じた市民の意識の向上に関係機関と協働で取り組んだ。

- ・災害ボランティア研修会の実施（参加者延べ 148 名）

H29.9.2～3 テーマ：「地域を守る住民の“ちから”を集結せよ！」～住民の支え合いの重要性を学ぶ、災害時に何ができるか考える、災害時の決断力を高める～

講師：鳥取県日野ボランティア・ネットワーク 山下弘彦 氏

日本防災士会長崎県支部 支部長 旭 芳郎 氏

- ・佐世保市総合防災訓練への参加（参加者 43 名）

H29.10.7 総合防災訓練の中での災害ボランティアセンター設置運営訓練

- ・災害ボランティアネットワーク連絡協議会委員視察研修会（参加者 9 名）

H29.11.9～10 熊本県社会福祉協議会、益城町社会福祉協議会

(2) 災害ボランティアネットワーク連絡協議会

関係機関が平常時から顔の見える関係を構築することを目的に、16 機関・団体による「災害ボランティアネットワーク連絡協議会」を開催した。

H29.6.9 H28 年度事業報告及び市総合防災訓練について他

H29.10.2～3 視察研修会と併せて開催。

H30.1.23 視察研修会報告及び H30 年度事業計画について他

(3) 九州北部豪雨災害に伴う職員派遣

九州北部豪雨災害（H29.7.5～6）における、災害ボランティアセンターの後方支援として職員を派遣した。

派遣先：福岡県東峰村災害ボランティアセンター

H29.7.25～29 1 名

H29.7.29～8.2 1 名

6 福祉教育の推進

(1) 福祉教育・人材育成

①福祉教育の推進

市内小中学校からの相談に応じ、プログラムの提案や講師の紹介等の支援を行い、児童・生徒の「共に生きる力」を育むふくし教育を推進した。 小学校 10 校

②モデル 3 地区及び新規 15 地区におけるふくし教育実践プログラムの実施

モデル 3 地区（早岐・九十九・世知原）及び 15 地区（針尾・三川内・天神・福

石・木風・戸尾・光園・春日・清水・金比良・黒島・大野・中里皆瀬・吉井・江迎)の福祉推進協議会において、ふくし教育の理解と実践プログラムの企画を行い、推進体制の整備を進めるとともに、社会的包摂を考える学習会の開催やふくし教育実践指針に基づくプログラムを実施した。

③ふくし教育学習会の開催

ふくし教育の意義や必要性について関係機関が相互理解を深めることを目的としてふくし教育学習会を開催した。

・テーマ：「地域共生社会の実現とふくし教育」 H30.3.12 参加者 199 名

講師：日本福祉大学教授 原田正樹 氏

④ふくし教育推進委員会の開催

佐世保市においてふくし教育実践指針に基づく地域を基盤としたふくし教育を推進するに伴い、進捗状況や内部評価に対する助言を行うことを目的として 16 団体で構成するふくし教育推進委員会を開催し協議を行なった。

・ふくし教育推進委員会の開催 2 回

⑤地域福祉出前講座の開催

市教育委員会が作成する「佐世保市まちづくり出前講座」に、地域福祉を学ぶプログラムを位置づけ、依頼があった関係団体等に社協職員が出向き講座を行った。

・社協による講座の中で地域福祉を学ぶプログラムを実施

実施回数：3 回 ・ボランティア入門講座 2 回 参加者 58 名

・話し相手ボランティア養成講座 1 回 参加者 26 名

⑥地域福祉講演会の開催

地域が一体となって地域福祉を推進するため、地域住民の参加に加え、保健、医療、福祉分野における事業所や NPO 法人、ボランティア団体など様々な機関や団体が連携することが必要であり、このような多くの関係者、地域住民に地域福祉への理解と関心を深めてもらうことを目的として開催した。

・H29.12.13 佐世保市コミュニティーセンター

テーマ：「住み慣れた地域でいつまでも暮らすために私たちにできること」

講師：福祉ジャーナリスト 町永 俊雄 氏 参加者 232 名

【地区別】

・H29.11.22 江迎地区公民館

テーマ：「認知症と共に生きる地域づくり」

講師：㈱エフォートケアシステム 成富 努 氏 参加者 45 名

・H30.3.6 江上地区公民館

テーマ：「地域のつながりをつくるために～災害時に困らない関係づくり～」

講師：佐世保市防災危機管理局 中村 孝幸 氏 参加者 52 名

7 広報啓発

(1) 活動啓発・情報収集及び提供

①社協だよりの発行

地域福祉を推進している各地区の福推協活動や、ボランティア活動及びその活動を支援している社協の取り組みを、市民に分かりやすく伝え、福祉意識の向上と地域福祉活動への理解と関心を深めることを目的に年3回発行した。

また、社協だよりの内容をCDに吹き込み、視覚障害者の方へ「声の社協だよりのり」として配布するとともに、社協事務局及び老人福祉センター3ヵ所へサンプルCDを設置し、市民への周知を行った。

- ・社協だよりのり 7月、10月、3月（各101,000部発行 全世帯配布）
- ・声の社協だよりのり 発行ごとにCD70枚作成

②第51回佐世保市社会福祉大会の開催

市民に対する地域福祉活動への理解と啓発を目的に、社会福祉協力者、社会福祉事業関係者への表彰及び記念講演を、民生委員制度創設100周年記念大会と併せて実施した。 H29.10.9（祝）アルカスSASEBO大ホール

③社協「地域福祉かわら版よもで」の発行

社協だよりを発行することができない時期のタイムリーな情報や、若い世代を含めた様々な世代が興味を持ち、地域福祉活動への理解を広げることを目的に年3回発行した。

- ・5月、9月、1月（各4,000部発行 地区公民館、図書館、福祉施設・団体、各学校、包括支援センター、ショッピングセンター等）

④ボランティア・NPO関係広報紙「くれよん」の発行

市民にボランティア・NPOに関する様々な情報を提供し、活動への関心と理解を深め、活動参加へのきっかけになることを目的に年6回（各4,200部）発行した。また、マスコミ（新聞各社、佐世保市内のテレビ局、ラジオ局、タウン誌）に協力を依頼し、社協事業のPRに取り組んだ。

⑤ホームページによる広報

社協活動全般の紹介、また、地域福祉に関わる新しい情報の発信に努めた。

8 地域福祉活動への支援等

（1）地域活動支援

①福祉団体の支援

地域で活動する福祉団体へ運営費・事業費を助成し、その運営を支援した。

- ・民生委員児童委員協議会連合会及び主任児童委員部会
- ・老人クラブ連合会 ・視覚障害者協会 ・肢体障害者協会
- ・ろうあ福祉協会 ・手をつなぐ育成会 ・母子寡婦福祉連合会
- ・佐世保市遺族会 ・佐世保市保育会 ・青少年健全育成会

②佐世保市社会福祉センターの運営

地域で活動する団体（個人）等へ会議室の貸出を行った。

③赤い羽根子どもの遊び場の整備

「赤い羽根子どもの遊び場」に設置されている、遊具、フェンス等の安全及び環境維持のため、7ヵ所の遊び場に整備費を助成した。

④遊具・福祉車両・機器の貸出

地域で行われる催し物やサロン活動を支援するため、歳末たすけあい募金の配分金により新たに遊具を購入するなど貸出し用の遊具、備品の充実を図った。

また、公共交通機関を利用しての外出が困難な障がい者や、高齢者の通院等のために、福祉車両や、車椅子、ポータブルトイレなど介護用具の貸出し、そのほか小・中学校での福祉体験学習用具の貸出しを行った。

- ・貸出件数：サロン遊具 917 件、車椅子 181 件、福祉車両 9 件、高齢者疑似体験セット 18 件、綿菓子機・ポップコーン機 111 件、その他 30 件

9 その他

①社協創立60周年を記念し各種交流大会を実施した。

○「バグー交流大会」の開催

【予選】H29.10.2～13 北部・中部・東部 60 チーム参加

【本戦】H29.11.2 予選を勝ち抜いた 24 チーム参加

優勝	準優勝	第3位
東今福ハッピー会	小佐々しゃべろう会	中里町上サロン

○「3世代交流グラウンドゴルフ大会」の開催

H29.10.14（土）吉井ソフトボール場

1 チーム 6 名（高齢者 2 名、保護者 2 名、小学生 2 名）

参加者 12 チーム 72 名

優勝	準優勝	第3位
世知原 A チーム	黒島 B チーム	吉井 B チーム

○「将棋大会」の開催 H30.1.14（日）老人福祉センターやすらぎ荘

参加者 65 名（うち小中学生 24 名）

②共同募金運動への協力

○赤い羽根共同募金（H29.10.1～H29.12.31）

※募金総額の 4.6%が、次年度の地域福祉活動事業へ配分される。（単位：円）

区 分		目 標 額	H29 年度実績	H28 年度実績額	摘 要
募金総額		41,091,000	27,281,863	27,930,136	目標額の 66.4%
内 訳	戸別募金	29,791,000	16,695,435	17,091,187	
	法人募金	2,000,000	1,975,000	1,973,000	
	街頭募金	300,000	272,812	243,567	9 回実施
	職域募金	2,000,000	1,927,032	1,879,232	
	学校募金	1,500,000	1,642,118	1,686,447	
	特別募金	5,500,000	4,769,466	5,056,703	民生委員扱 358 件 4,594,166 円 事務局扱い 18 件 108,748 円 自動販売機 3 台 66,552 円

○歳末たすけあい募金（H2912.1～H29.12.25）

※募金全額を福祉見舞金等配付事業に活用した。（3ページ参照）（単位：円）

区 分		目 標 額	H29 年度実績額	H28 年度実績額	摘 要
募金総額		6,000,000	5,457,445	5,607,893	目標額の 90.9%
内 訳	戸別募金	4,900,000	4,778,986	4,830,361	
	一般募金	1,000,000	643,122	737,532	街頭募金 6 回
	法人募金	100,000	35,337	40,000	

③安定した社協事業活動を支えるため、自主財源の確保に努めた。

特にホームページにおいて福祉協力店として団体・法人会員の紹介、また寄付者のお知らせを行い会員加入の促進と寄付協力者の増を図った。

○社協会員の確保（単位：円）

種 別	口 数	H29 年度実績額	H28 年度実績額
一般会員	25,308	5,061,790	5,002,492
賛助会員	1,438	1,438,000	1,513,000
団体会員	81	405,000	725,000
特別会員	186	1,235,000	1,245,000
計	27,013	8,139,790	8,485,492

○社会福祉事業資金への寄付（単位：円）

種 別	件 数	H29 年度実績額	H28 年度実績額
忌明寄付	58	1,270,000	1,563,000
一般寄付	47	2,226,755	1,668,583
指定寄付	1	120,000	108,000
物品寄付	4		
計	110	3,616,755	3,339,583

④要介護認定調査事業

長崎県から市町事務受託法人の指定を受け、佐世保市からの委託で、介護認定の申請をされた後に申請者を訪問し、日常生活動作など要介護認定に必要な調査事務を行った。 調査員 24 名（嘱託 21 名・パート 3 名） 調査件数 9,803 件

⑤職員体制（H30.3.31 現在、兼務は除く）

（単位：名）

	正 規	嘱 託	臨 時	パート	合 計
事務局長		1			1
法人運営課	3	1	3	1	8
地域福祉課	14	9	2	1	26
福祉サービス利用支援課	0	24	0	4	28
在宅介護課・介護事業所(7 事業所)	47	48	0	162	257
勝富授産場	2	2	0	2	6
保育園(2 園)	12	15	3	13	43
児童センター(9 センター)	12	15	0	16	43
老人福祉センター(3 センター)	0	8	0	5	13
高齢者生活福祉センター(2 センター)	0	3	0	3	6
宇久地域包括支援センター	1	2	0	0	3
合 計	91	128	8	207	434

介護事業所事業報告

介護保険制度や障害者総合支援法等に沿って、利用者の自己選択、自己決定を尊重し、介護者や関係機関との連携を図りきめ細やかな在宅サービスの提供を行った。また、職員全体研修を開催するなど質の高いサービスを提供できるよう努めた。小佐々介護事業所の老朽化した浴室の増築工事を行い安全に入浴を提供できるよう施設整備を行った。

1 職 員 95名（正規47名・嘱託48名） パート職員162名 合計257名

2 居宅介護支援事業

利用者の介護保険による介護サービスを受ける時に必要となる居宅介護支援計画の作成、相談、サービス調整等を行った。また、医療・保健・福祉サービスを総合的・効果的に利用できるよう提案し、住み慣れた地域で自立した生活が続けられるよう支援をした。

実績	佐世保	吉井	宇久	小佐々	江迎・鹿町	合計
H28 延人数	1,191	885	397	1,311	1,980	5,764
H29 延人数	1,016	1,089	475	1,284	1,969	5,833

3 訪問介護事業

家庭を訪問し、食事・入浴・排せつ等の介助（身体介助）や掃除、洗濯、調理等日常生活の支援、相談、助言（生活援助）のサービスを実施した。

実績	佐世保	吉井・世知原	宇久	小佐々	江迎・鹿町	合計
H28 延人数	16,834	11,275	3,291	6,275	10,974	48,649
H29 延人数	19,762	10,009	3,332	6,775	11,084	50,962

4 居宅介護事業

障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスのうち、訪問介護事業所のホームヘルパーが障がい者に対し、在宅で介護や家事等の日常生活の援助を行う居宅介護サービスを実施した。

実績	佐世保	吉井・世知原	宇久	小佐々	江迎・鹿町	合計
H28 延人数	2,369	197	157	430	1,125	4,278
H29 延人数	1,888	193	111	497	1,303	3,992

5 訪問入浴介護事業

・障害者訪問入浴介護事業

移動入浴車で家庭を訪問し、居室で簡易浴槽による入浴サービスを実施した。

実績	小佐々	実績	小佐々
H28 延人数	409	H28 延人数	103
H29 延人数	478	H29 延人数	97

6 通所介護事業

デイサービスセンターの施設に通い送迎や入浴、食事の提供、機能訓練等を行う日帰りのサービスを実施した。

実績	吉井	世知原	宇久（慈恵苑）	小佐々	江迎	鹿町	合計
H28 利用定員	35	35	30(10)	55	40	35	
H29 利用定員	35	35	35(10)	55	40	35	
H28 延人数	8,389	7,090	10,741	14,216	9,122	6,723	56,281
H29 延人数	8,228	6,312	10,657	14,901	9,189	6,974	56,261

7 認知症対応型共同生活介護事業（グループホームよしいの郷）

認知症の要介護者等が、介護スタッフとともに食事づくり、掃除、洗濯等をしながら少人数で共同生活を行う事業を実施した。

実績	吉井（利用定員18名）		
H28 延人数	6,342	入居率	96.5%
H29 延人数	6,381	入居率	97.1%

8 移動支援事業（市受託事業）

一人で外出することが難しい障がい者（児）に対して、外出のための支援を行なった。

実績	佐世保	吉井・世知原	江迎・鹿町	合計
H28 延人数	242	4	38	284
H29 延人数	283	4	31	318

9 介護教室開催事業

介護方法の習得や介護サービスに関する情報等を内容とした介護教室を開催した。

実績	吉井	宇久	小佐々	江迎	合計
H28 参加者人数	28	8	16	72	124
H29 参加者人数	31	7	19	40	97

10 介護予防・日常生活支援総合事業

通所型サービスC型（きらっと元気教室）

高齢者に応じた個別のプログラムを設定し、各機能の向上を図ることにより、高齢者の生活目標を達成していくことを目的に事業を実施をした。

実績	吉井	世知原	宇久	小佐々	江迎	鹿町	合計
H28延人数	433	276	316	166	660	114	1,965
H29延人数	270	117	68	166	220	113	954

※主な取組

1. 介護事業検討チームやワーキンググループの会議を開催し第3次発展強化計画の1年目の計画に沿って事業を実施した。
2. 地域包括支援センターその他の関係機関と連携し、高齢者に応じた運動機能向上、口腔機能向上、認知症予防のプログラムを実施し地域における自立した日常生活支援を行うことを目的にきらっと元気教室を実施した。
3. 地域のいきいきサロンやふれあい食事会等に出向き、介護相談や介護サービスに関する情報提供に努めた。
4. 職員の質の向上を目指し、全体研修、事業別研修会や介護支援専門員、介護福祉士の資格取得に向けた研修会を開催した。（介護支援専門員2名、介護福祉士7名取得）
5. 介護事業所カレンダーの作成、広報誌の発行、ホームページへの掲載を行い、広報啓発に努めた。

勝富授産場事業報告

社会福祉法による授産施設の趣旨に基づき、低所得者や障がい者等を対象に、作業の提供をととして社会生活の能力を高めるとともに、知識や技能習得の向上を図った。

1 職 員

場長 1 名、指導員 3 名（縫製部 2、軽作業部 1）、パート職員 2 名 計 6 名

2 利 用 者（定員 20 名）

区 分	年 度	男 性	女 性	合 計
縫 製 部	H28 年度	2 名	4 名	6 名
	H29 年度	2 名	4 名	6 名
軽作業部	H28 年度	3 名	5 名	8 名
	H29 年度	3 名	6 名	9 名
合 計	H28 年度	5 名	9 名	14 名
	H29 年度	5 名	10 名	15 名

（3 月末現在）

・利用者の内訳

①生活保護 7 名 ②みなし保護 6 名 ③基準該当就労継続B型 2 名

3 作業内容

- ・縫 製 部 紳士服、婦人服の補正及び作業着等の縫製
- ・軽作業部 紙箱等の組立、割箸の袋入れ、シール貼り他簡易作業、網戸の張替

4 受注件数及び金額

区 分	年 度	件 数	金 額
縫 製 部	H28 年度	1,544 件	3,455,368 円
	H29 年度	1,255 件	3,113,481 円
軽作業部	H28 年度	529 件	1,264,076 円
	H29 年度	510 件	1,211,104 円
合 計	H28 年度	2,073 件	4,719,444 円
	H29 年度	1,765 件	4,324,585 円

5 工 賃

区 分	年 度	支 払 総 額	1 人平均月額
縫 製 部	H28 年度	1,928,309 円	26,011 円
	H29 年度	1,837,104 円	24,931 円
軽作業部	H28 年度	1,174,582 円	11,188 円
	H29 年度	1,103,121 円	9,279 円

6 月平均出勤日数

・縫製部 18 日 ・軽作業部 15 日 （平均作業日数 20 日）

須佐保育園事業報告

児童福祉の理念に立って、よりよい保育環境を整え、それぞれの年齢、能力、個性に応じた養護と教育が一体となった保育を進め、健やかな身体、豊かな情操、正しい社会性、道徳性の芽生えを培い、心身ともに健全な人間形成の基礎を養い感性を高めるよう努めた。

1 保育園の運営

(1)定 員 70名 月平均86名(前年度 月平均87名 年間1046名)

年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

月 園 児	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳 児	4	5	6	6	7	7	9	14	13	13	14	14	112
1～2歳児	28	29	31	30	29	28	29	29	30	30	30	30	353
3歳児	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	202
4歳以上児	31	32	32	31	30	29	29	29	30	31	31	31	366
計	79	82	86	84	83	81	84	89	90	91	92	92	1,033

(2)職員数

園 長 1名 主任保育士 1名 副主任保育士 1名

保育士 14名(常勤13・パート1) 調理員 4名(常勤3・パート1) 計21名

2 保育内容

(1)保育目標

・じょうぶなからだ ・つよいところ ・おもいやりのところ ・つくりだすちから
4つの目標を柱に、たくさんの経験、ふれあいの中で、豊かな心が育つように努めた。

(2)開所時間 午前7:00～午後7:00

(3)クラス編成

0歳児クラス(つくし組) 1歳児クラス(すみれ組) 2歳児クラス(なのはな組)
3歳児クラス(もも組) 4～5歳児クラス(さくら組)

(4)主要行事

4月	入園対面式 親子ふれあい遠足(佐世保公園)
5月	美化プロジェクト(種まき) 内科健診
6月	ふれあい運動会 保育参観 さくら組芋さし(柚木) 歯科検診 交通安全教室 美化プロジェクト(植付)
7月	夏祭り プール指導(相浦) プール開き 須佐神社夏祭り
8月	プール納め
9月	お店屋さんごっこ 交通安全教室 年長児の祖父母招待
10月	年長児親子MR乗車 もも組遠足(森きさら) 歯科検診 美化プロジェクト(種まき)
11月	お遊戯会 年長児公民館祭り 七五三参拝 保育参観 さくら組芋掘り(柚木)
12月	美化プロジェクト(植付) 内科健診 クリスマス会・聖和コーラス交流会
1月	消防出初式 交通安全教室 郵便屋さんごっこ

2月	豆まき 須佐神社節分祭 年長児・保護者との会 縄跳び大会
3月	ひな祭り会 卒園式 さくら組遠足(海きらら)

避難訓練(月1回実施) 誕生会(月末水曜日) 体育教室(月3回木曜日 4～5歳児)

(5) 特別保育事業

- ・延長保育推進事業(年間3,773名)
- ・世代間交流等事業(自主)
「元気にしてる?会」実施(高校1年4月・小学1年12月)
- ・園庭開放 育児相談(自主)

3 給食

- ・食材の味をいかせるよう薄味を基本とし、新鮮な旬の食材を使い、季節感のあるバランスの取れた献立を工夫した。
- ・アレルギー、体調の悪い子どもには、細心の注意をはらい調理工夫した。
- ・食事のマナーを知らせ、友達や保育士とおいしく楽しく給食がとれるようにした。
- ・0歳児…家庭での離乳食の進み具合を聞き、連携を取りながら行っていた。
1～2歳児…野菜を少しずつ大きめに切ったり、歯ごたえのある素材を取り入れた。
3歳以上児…副食のみ給食実施。クッキング保育を通して、食材や調理器具の使い方、料理の楽しさを知らせ、食育につなげた。

4 健康管理

朝の受け入れの際、丁寧に視診を行い、一日健康で楽しく遊べるように配慮した。

(1) 園児

- ・内科健診(池田医師 5・12月実施)
- ・歯科検診(品川医師 6・10月実施)
- ・尿検査 (3歳以上児 年2回実施)
- ・フッ化物洗口(4.5歳児 週5日実施)

(2) 職員

- ・定期健康診断(年1回実施)
- ・検便 (月1回実施)

5 職員研修・会議

(1) 外部研修

- ・園長会 主任保育士部会 給食部会 保育士研修会 他

(2) 園内研修

- ・給食検討会(月1回)メニュー等の反省を行い、より良い献立に努めた。
- ・研修(月1回)研修会の報告を行い、知識を深め合い保育技術の向上に努めた。
- ・会議(月2回)保育内容、行事の検討等を行い、保育内容の充実に努めた。

吉井北保育園事業報告

保育指針が30年度より改定されるにあたって、0, 1, 2歳児の保育の充実、質の向上が、改定の重要なテーマの一つになっていることから、いち早く研修を積み私達は、その原点に基づき温かく丁寧な保育に心がけた。また、児童福祉法の理念に建って、よりよい保育環境を整え、養護と教育が一体となった保育を進め、健やかな身体、豊かな情操、正しい社会性、道徳性の芽生えを培い、心身ともに健全な人間形成の基礎を養い感性を高めるよう努めた。

また、職場の研修体制の強化の意味でも、キャリアアップのための研修分野にも全員が参加し、研修で得た成果を職場で共有し、園全体の力にしていこうように努めた。

1 保育園の運営

(1) 定員 60名 月平均 59.3名(前年度 月平均52.9名 年間635名)

年齢別・月別入所児童数(各月初日現在)

園児 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	4	5	5	6	6	8	10	10	11	11	12	12	100
1～2歳児	21	19	19	19	20	20	20	20	21	21	21	21	242
3歳児	11	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	137
4歳以上児	19	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	233
計	55	56	56	57	58	60	60	60	62	62	63	63	712

(2) 職員

園長1名 主任保育士1名 副主任保育士1名 保育士4名 臨時2名

パート8名 パート看護師2名 調理員3名(常勤2・パート1) 計22名

2 保育内容

(1) 保育目標

子どもたちは、未来に向けてのあらゆる可能性をそのうちに秘めている。日々の保育の中で伸びゆく芽を見つけ、愛情あふれる環境の中で大切に育てていくことを目標とし保育に努めた。

- ・のびのびと遊べる子ども・友達となかよくできる子ども
- ・自然に親しみ、お年寄りやさしくふれあえる子ども

(2) 開所時間 午前7:00～午後7:00

(3) クラス編成

0歳児クラス(たんぽぽ組) 1歳児クラス(すみれ組)
2・3歳児クラス(もも・うめ組) 4・5歳児クラス(さくら・ひまわり組)

(4) 主要行事

4月	入園対面式 進級式 花祭り参加
5月	歯科検診 クッキング 親子バス遠足 デイサービス訪問(吉井介護事業所) 防犯訓練(外部指導)
6月	運動会 交通安全教室 芋苗さし 内科健診
7月	夏祭り セタ集会 プール開き クッキング 下直谷地区夏祭り
8月	プール納め
9月	消防訓練指導 吉井北小ふれあいコンサート さくらプレイス訪問 交通安全教室 保育参観(試食会含) 吉井中職場体験 お店やさんごっこ

10月	クッキング デイサービス訪問（吉井介護事業所）福井くんち前夜祭 福井くんち 保幼小吉井地区交流遠足 尿検査（3・4・5歳児）
11月	吉井地区文化祭（太鼓出演・展示） 内科健診 下直谷敬老会 七五三発表会 ふれあい発表会 クッキング 芋ほり
12月	美化プロジェクト（花苗植え） 保育参観 黒髪山祭り クリスマス集会 クッキング
1月	地域消防団による放水 郵便屋さんごっこ 防犯訓練（江迎警察署指導）
2月	交通安全教室 節分集会 小学校との交流会 クッキング（クッキー）
3月	雛祭り集会 卒園式 年長組バス遠足 お別れ会 お別れ遠足 修了式

〔年間〕 たのしいリズム（外部指導 年24回） 和太鼓（外部指導年22回）
防犯指導（外部指導1回・江迎警察署の1回計2回） 弁当の日（年3回）

〔毎月〕 誕生会 身体測定 避難訓練

（5）特別保育事業

- ・延長保育促進事業（延長保育事業）…年間延べ人数 1,143人
- ・世代間交流事業…単独事業（年5回実施延べ人数 200人）
- ・異年齢児交流事業…単独事業（年1回実施 40人）
- ・一時預かり事業…単独事業（年間延べ人数 146人 佐世保市・広域）
- ・園庭開放…単独事業（利用者1名）

3 給 食

友だちや保育士、更に調理員などと一緒に食事をする事で人とのかかわりを持って、楽しく食べることにより、料理をつくる人にも関心をもたせた。また、季節の野菜を育てたり、収穫した野菜等で調理をしたりすることで食物に関心を持ち、できるだけ多くの食材や種類の食べ物や料理を味わえるよう工夫した。

安全面には特に留意し、国内産の食材を使用するように努め、特に離乳食やアレルギーを持った園児に対しての配慮を心掛けた。

4 健康管理

乳幼児の安全を守り、体調不良の子どもへの対応など健康面・食事面における対策に配慮し、健やかな成長を推進するように心がけた。

（1）園児

- ・内科健診（松瀬診療所…6月・11月実施）・尿検査（3歳以上児 年2回実施）
- ・歯科検診（法師山歯科医院…5月実施）・フッ化物洗口（4・5歳児 週6日実施）

（2）職員

- ・定期健康診断（年1回）
- ・検便…全職員実施（毎月）

5 職員研修・会議

（1）外部研修

- ・園長会 主任保育士研修会 給食部会 保育士研修会 キャリアアップ研修会他

（2）園内研修・会議

- ・外部講師を呼んでの研修会（年1回）
- ・職員会（月1回以上）行事等の内容及びケース会議を行い保育内容の充実を図った。
- ・給食検討会（月1回）改善点を反映させ、よりよい給食を提供できるように努めた。
- ・研修報告会・会議（随時）報告会、勉強会を重ねることで、職員各自の意識向上を図った。また、自分の保育のやり方を振り返り、反省し、助言を受けスキルアップにつなげていった。

児童センター事業報告

児童福祉法に基づき、児童に健全な遊びを与えその健康を増進し、情操を豊かにするとともに、地域における健全育成活動の拠点とし学校、児童クラブ、子ども会及び留守家庭児童保護者等との連携を図りながら様々な活動を展開した。

1 職 員

館長 9名（宇久支所長兼務 1） 児童厚生員 9名 嘱託児童厚生員 10名
パート職員 16名 計 44名

2 利用者状況

区 分	稲 荷	大 野	黒 髪	相 浦	早 岐	春 日	広 田	山 澄	宇久	合 計
開 館 日 数	293	293	293	293	293	293	293	293	293	2,637
利 用 者 総 数	8,256	7,462	16,796	5,513	6,492	5,004	10,833	3,661	8,505	72,522
一 日 平 均	28.2	25.5	57.3	18.8	22.2	17.1	37.0	12.5	29.0	27.5
登校日	最 高	54	111	90	41	43	40	62	48	43
	最 低	0	3	27	0	0	0	4	0	8
休校日	最 高	99	77	113	123	50	88	101	46	71
	最 低	8	4	9	6	1	0	6	2	6
利 用 届 数	271	148	357	355	248	181	242	236	93	2,131
幼 児 利 用 者 数	1,440	1,203	694	1,036	373	531	1,000	883	849	8,009
大 人 利 用 者 数	397	1,343	670	936	676	685	1,504	786	982	7,979
一 般 児 童 利 用 数	5,742	4,245	15,231	3,407	5,388	3,715	2,908	1,992	4,016	46,644
留守家庭児童利 用 数	677	671	201	134	55	73	5,421	0	2,658	9,890
留守家庭児童利 用 届 登 録 者	13	14	7	14	3	3	76	0	10	140

3 事業内容

児童センター利用児童の参加による運動遊びや体験学習などを通して、子どもの個別的、集団的援助活動を推進し、自主性、社会性、創造性を健やかに育てることを目的に次の事業を実施した。

（１）単館事業

①年間事業

各児童センターの自由な企画で年間を通して、季節行事、工作、クッキング、スポーツ、などを、地域のニーズや子ども達の状況に合わせた内容で実施した。

②子どもボランティア育成支援事業

子ども達によるボランティアグループの育成を図り、その活動を支援した。

③自然体験活動事業

野外での活動を行い、子ども達の豊かな情操を育む支援を実施した。

④児童健全育成相談支援事業

児童及び保護者からの相談に応じ、関係機関と連携を図り個別または集団指導を実施した。

⑤年長児童等来館促進事業

中高生にイベントへの参加協力を依頼し、来館促進に繋がるような事業を実施した。

(2) その他事業

- ・ホームページやセンターだよりなどによる児童センター活動情報及び子育て支援情報の提供
- ・子育て支援、親子交流事業として幼児を対象とする特別開館の実施。

(3) 青空児童館

児童の健全育成を推進する団体からの要望を積極的に受け入れ、遊びのプログラムを提供すると共に地域交流に努めた。

また、広報活動として青空児童館のポスターやチラシを作成し、小学校や子ども会及び地区の主任児童委員等へ配布した。

① 派遣型青空児童館： 19か所 参加者1,088名

② 事前指導： 2件

③ 遊具の貸出： 6件

④ 四ヶ町・三ヶ町アーケード内でのイベント参加

「まちなかウォーキングスタンプラリー」 H29.7.8

ペンシルバルーンの体験及びプレゼント、またチラシとポケットティッシュを配布し広報活動を行った。

(4) ふれあい交流事業

児童センターが地域社会の中で児童健全育成活動の拠点としての役割を担っていることを広く市民に知ってもらう機会となった。また児童が多くの人達とふれあうことで責任感・充実感および満足感を味わい、豊かな心を育てるとともに地域、保護者、関係団体とのネットワークの強化を図った。

◎ 羽ばたけ児童センターまつり H29.12.3 (山澄児童センター及び山澄地区公民館)

市内の児童が交流できる場として、遊び・体験・展示・出演・軽食の5つのブースを設け、子どもたちが各係を担当し、来場者が自由にそれぞれのブースを楽しめるよう実施した。

参加者延べ5,854名

協力団体：佐世保市主任児童委員部会・長崎県立大学鵬祭実行委員会・長崎国際大学・他多数団体。

◎ 赤い羽根共同募金街頭募金活動 H29.11.11（四ツ町アーケード 内島瀬公園前）

児童が募金活動を体験することで、福祉に関心を持たせ、他人を思いやる心を育んだ。

参加児童14名 募金額 41,853円

（5）一輪車大会 H29.10.1（佐世保市立黒髪小学校体育館）

一輪車を楽しく乗りこなし、さらに心身の能力を十分に発揮して、児童が健全に成長することを目的に、市内の全児童を対象に実施した。

○直線・曲線走など競技 ○アイドリング、片足走行など技能 ○演技（集団技やダンス）披露参加者261名（選手児童72名・参観児童37名・保護者107名・ほか45名）

（6）第21回「させぼわんぱくひろば」 H29.5.7（佐世保市体育文化館）

子育て支援団体として実行委員会に参加し、子ども達が楽しめる遊びを提供することで児童センターとしての役割を十分発揮できるよう協力した。

また、わんぱくひろば実行委員会事務局として、子育て支援団体と協力して実施した。

○「風船で作って遊ぼう」「ころころカーリング」 コーナー参加者 延べ2,054名

老人福祉センターやすらぎ荘事業報告

高齢者の皆さんが、施設の利用をとおして相合の親睦と心豊かな人間関係を育むとともに、公開講座、健康講話等による健康管理、各種クラブ活動に積極的に参加することによって、楽しく健康で生きがいのある人生を送られるよう生涯学習の場の提供に努めた。

施設整備では、閉館した市民会館の敷地内を經由していた給排水管の移設工事を行った。

1 職 員

所 長 1 主 事 1 管理員 2 パート職員 1 計 5名

2 利用者数

(1) 年度別

年度	利用者数 (名)	月平均 (名)	1 日平均 (名)	開館日数 (日)	1 日の利用者数	
					最高(名)	最低(名)
27	17,895	1,491	61	293	130	2
28	16,206	1,351	55	293	121	10
29	17,746	1,479	61	293	109	21

(2) 利用券別

(単位：名)

年度	総 数	回数券	老人券	一般券	学生券	団 体	無 料
27	17,895	15,740	1,903	109	0	24	119
28	16,206	14,180	1,715	65	3	59	184
29	17,746	15,230	2,098	121	32	112	153

3 利用料収入

(単位：円)

年度	利 用 料	月 平 均	1 日 平 均
27	2,172,260	181,022	7,414
28	1,970,710	164,226	5,545
29	2,070,120	172,510	7,065

4 健康相談者数

(単位：名)

年度	総 数	月平均
27	174	15
28	120	11
29	59	10

5 送迎バス利用者数

(単位：名)

年度	利 用 者 数
27	5,413
28	5,772
29	6,359

6 講座及びクラブ活動

講 座 名	部員数(名)	開催回数
表 装	30	週1回
茶 道	4	週1回
合 唱	4	週1回
カラオケ	10	月2回
書 道	14	週1回
詩 吟	3	週1回
合 計	65	

ク ラ ブ 名	部員数(名)	開催回数
手 芸	6	週1回
水墨画	4	月2回
陶 芸	4	週1回
軽音楽	7	週1回
ソーイング	17	週1回
舞 踊	5	週1回
将 棋	25	毎 日
囲 碁	8	週2回
合 計	76	

7 各種行事等

(1) 創立記念演芸大会	5月14日
(2) 歯科相談	6月 2日
(3) 七夕演芸大会	7月 9日
(4) 秋の文化祭	9月 8日～10日
(5) 秋の演芸大会	9月10日
(6) 山手町公民館敬老会	9月16日
(7) 折橋町1組敬老会	10月15日
(8) 避難訓練	11月 9日
(9) 年忘れ演芸大会	12月10日
(10) 講座事始め式	1月 7日
(11) 社協60周年記念将棋大会	1月14日
(12) 豆まき	2月 3日
(13) 天竜保育園交流会	2月13日
(14) 春の文化祭	3月 9日～11日
(15) さくら祭り演芸大会	3月11日
(16) 避難訓練	3月14日

公開講座

4月19日	心の健康づくり	古賀菜都美(市障害福祉課)
5月17日	咳について	木下(千住病院)
6月21日	ガスの安全な取組み	田口(西部ガス)
7月19日	心の眼を開く	辻本光信(善隣寺住職)
9月20日	高齢者の交通安全・特殊詐欺・災害安全対応	佐世保警察署(交通課)
10月18日	低栄養を防ぐ食生活のポイント	山西善子(市健康づくり課)
11月15日	貧血について	籠手田聡子(千住病院)
12月13日	防火ふれあい教室	佐世保中央消防署
1月17日	健康づくりのための運動とは?	飛奈卓郎(長崎県立大学栄養健康学科)
2月21日	つながる命	一田晶壽(九品寺副住職)
3月14日	認知症について	山口美香(市長寿社会課)

老人福祉センターあたご荘事業報告

高齢者の皆さんが、施設の利用をとおして相互の親睦と心豊かな人間関係を育むとともに、健康相談等による健康管理、浴場、趣味及びレクリエーションの提供、便宜を図り、健康で明るく心豊かな生活の向上に資するよう努めた。

また、施設整備では、大広間他（和室）畳取替、床カーペットタイル張替工事等を行った。

1 職員数

所 長 1 名 事務員 1 名 管理員 1 名 パート職員 3 名 計 6 名

2 利用者数

(1) 年度別

年度	利用者数 (名)	月平均 (名)	1 日平均 (名)	開館日数 (日)	1 日の利用者数	
					最高(名)	最低(名)
27	22,403	1,867	75	297	182	5
28	22,083	1,840	75	296	156	36
29	26,203	2,382	88	297	186	42

(2) 利用券別

(単位：名)

年度	総 数	回数券	老人券	一般券	学生券	団 体	無 料
27	22,403	18,681	2,748	479	27	461	7
28	22,083	18,695	2,580	319	62	427	0
29	26,203	21,939	3,407	408	41	408	0

3 利用料収入

(単位：円)

年度	利 用 料	月 平 均	1 日 平 均
27	2,823,570	235,298	9,507
28	2,773,420	231,118	9,370
29	3,334,370	303,125	11,227

4 健康相談者数

健康相談者 (平成 29 年度から奇数月で実施)

年度	総 数	月平均
27	143	12
28	143	12
29	72	12

歯科相談者 (単位：名)

総数
19
26
7

5 クラブ活動

ク ラ ブ 名	部 員 数 (名)	開 催 回 数
詩吟教室 (A)	4	週1回
囲碁未来教室	10	週1回
松下囲碁クラブ	10	週1回
囲碁中央研究会	13	週2回
筆ペン (光明習字塾)	5	週1回
吉元舞踊クラブ	2	週1回
将 棋	12	週2回
あたごフラダンス	6	月3回
さくら会	6	月2回
囲 碁 (欄可)	8	月2回
詩吟教室 (B)	4	月3回
KARAOKE 友の会	7	週1回
バンド (佐世保マ&XO-)	7	週1回
松下囲碁クラブ	6	月1回
合 計	100名	

6 各種行事

(1) 健康相談	奇数月第三金曜日
(2) 歯科相談	11月17日
(3) 春の演芸大会	4月16日
(4) 北部地区老人クラブ連合会演芸大会	5月10日
(5) 相浦地区老人クラブ連合会演芸大会	6月14日
(6) 中里上地区公民館敬老会	9月23日
(7) 施設訪問 (中里・皆瀬健康ウォーキング)	1月13日
(8) 消防訓練 (避難訓練・消火訓練)	11月13日
	3月 3日
(9) 新春演芸大会	1月21日
(10) 中里地区老人クラブ連合会新年会	1月17日
(11) 節分 (豆まき)	2月 3日

老人福祉センターよしい荘事業報告

老人福祉法に定める老人福祉センター設置運営事業要綱に基づき、高齢者の皆さまに対して各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、趣味及びレクリエーションのための便宜の供与を行い、健康で明るく心豊かな生活の向上に資するよう努めた。

また、施設整備においては、受水槽補給水弁更新工事や給水管逆支弁交換修繕、流し台混合水栓修繕などそれぞれ老朽化に伴う更新、修繕工事を行った。

1 職 員

所 長（吉井支所長兼務） 1 名 事務員 1 名 計 2 名

2 利用者数

（1）年度別

年度	利用者数 （名）	月平均 （名）	1日平均 （名）	開館日数 （日）	1日の利用者数	
					最高（名）	最低（名）
27	3,394	283	14	242	55	2
28	3,740	312	16	241	54	2
29	4,604	384	19	241	54	2

（2）利用券別

（単位：名）

年度	総 数	回数券	老人券	一般券	学生券	団 体	無 料
27	3,394	1,579	813	32	0	—	970
28	3,740	1,880	995	11	0	—	854
29	4,604	2,526	846	56	0	—	1,176

3 利用料収入

（単位：円）

年度	利 用 料	月 平 均	1日 平均
27	313,500	26,125	1,295
28	383,140	31,928	1,590
29	443,880	36,990	1,842

4 健康相談者数

（単位：名）

年度	総 数	月 平 均
27	73	6
28	92	8
29	55	9

5 講座及びクラブ活動

ク ラ ブ 名	部員数（名）	開催回数
元気女子会サロン	12	月 2 回
吉井地区老人クラブ	50	月 1～2 回
合計 2 クラブ	62	

6 各種行事等

- (1) 健康体操(いきいき百歳体操)の日 毎週水曜日
- (2) 喫茶の日 毎月第2・4金曜日
- (3) たよりの発行 年1回
- (4) 健康相談 偶数月第2金曜日
- (5) 歯科相談 6月9日(金)
- (6) セタ会 7月31日(月)
- (7) 敬老会 9月25日(月)
- (8) クリスマス会 12月25日(月)
- (9) 大掃除 12月11日(月)
- (10) 節分(豆まき) 2月2日(金)
- (11) 火災避難訓練 3月7日(水)

7 公開講座

- (1) 3B体操講習会(第1回) 5月22日(月)
- (2) お口の中の健康教室(吉井地域包括支援センター) 6月26日(月)
- (3) 3B体操講習会(第2回) 10月23日(月)
- (4) 悪質商法に騙されないために(長崎県消費生活センター) 11月27日(月)
- (5) 3B体操講習会(第3回) 12月25日(月)
- (6) 3B体操講習会(第4回) 2月5日(月)
- (7) フレイル予防・成年後見制度(吉井地域包括支援センター) 2月23日(金)

宇久高齢者生活福祉センター慈恵苑事業報告

入居者に対して介護支援機能・居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、安心して健康で明るい生活を送れるように支援するとともに、福祉の増進と安定を図った。

1 職員体制 施設長（主任）1名 生活援助員2名（うち代替1名） 管理員2名

2 居住者 平成29年度末14名（平成28年度末17名）

3 職員目標 ①入居者の人格を尊重する。
②入居者の能力に応じた自立支援を行う。
③ご家族と連携を図り適切な支援を行う。
④地域や入居者間の交流支援に心がける。

4 会議 毎日（朝） 宿直との引継ぎ、業務報告（必要時ケース会議）
宇久支所訓を呼称
毎月（月初め） 社協の各事業の業務連絡会議
毎月（月末） 居住者の状態を全員で把握し、対応等について打合せ
年（1～2回） 家族と行政と社協とによる家族会議
年（2回） 居住者と職員による苑内会議

5 日課 9時00分 ラジオ体操～居住者及び職員参加
16時00分 リハビリ～手拭体操
趣味～折り紙・読書・お経・四季の行事
活動～庭の草取り・行事の準備等
入浴（週3回 火・木・土）他、シャワーも必要時

6 定期行事等

	行 事		行 事
4月	花見	10月	祭り見学
5月	母の日、蛍見学	11月	文化祭、産業まつり見学
6月	父の日	12月	クリスマス忘年会
7月	七夕交流会	1月	新年会
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老の集い	3月	ひな祭り

- ・誕生会（隔月） デイサービスと合同で実施
- ・清掃の日（月1回） 通常より丁寧に居室の清掃。希望により職員も支援
- ・防災の日（月1回） 居住者やデイサービスとの合同避難訓練・職員研修
- ・居室訪問（月1回） 看護師と生活援助員で健康チェック及び生活衛生面への助言
- ・新聞「ゆかり」の発行（年3回） 家族への情報提供

江迎高齢者生活福祉センター槇の木庵事業報告

入居者に対して介護支援機能・居住機能及び交流機能を総合的に提供する事により、安心して健康で明るい生活を送れるように支援するとともに、福祉の推進と安定を図った。

1 職 員 施設長生活援助員 1 名・生活援助員 2 名・宿直員 3 名（シルバー人材センター委託）

2 居 住 者 平成 29 年度末 6 名 （平成 28 年度末 6 名）

3 職員目標 ①入居者の人格を尊重する。
②入居者の能力に応じた自立支援を行う。
③ご家族と連携を図り適切な支援を行う。
④地域や入居者間の交流支援に心がける。

4 会 議 毎朝・夕 宿直員との申し送り
毎週・月曜日 業務報告（必要時ケース会議）
年間（3回） 入居者、行政、社協との連絡会

5 日 課 8 時 00 分 自動血圧測定（変動時、看護師測定、健康相談）脈拍測定
9 時 30 分 ラジオ体操 梅干し体操 がんばらんば体操
脳トレーニング 園芸 トランプ オセロ 折り紙
カラオケ レクリエーションゲーム テーブルゲーム
13 時 30 分 入浴（週 3 回 月・水・金）他、希望時対応シャワー浴等

6 定期行事等

	行 事	点検・訓練等		行 事	点検・訓練等
4 月	花見（鹿町町） カラオケ大会	ADE 研修	10 月	デｲｯﾋﾞｽ・槇の木庵 合同運動会 パン教室	電気点検
5 月	母の日お祝い会 （ﾌﾟﾚﾞﾝﾄ・会食） （ｶﾗｵｹ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ）	合同避難訓練 電気工作物年次点検 LP ガス設備保安点 検	11 月	合同食事会（ｲﾝﾌｧｲﾝ） 町文化祭作品出品	エアコン点検
6 月	父の日お祝い会 （ﾌﾟﾚﾞﾝﾄ・会食） （ｶﾗｵｹ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ）	火災報知器点検 消防検査 施設モニタリング	12 月	ネットワーク輪の集 い 合同クリスマス会 （お楽しみ抽選会）	非常灯点検 非常ﾊﾞﾙ点検
7 月	外食 七夕交流会 幼児園と手遊び	消防設備点検	1 月	正月祝い膳会食 ぜんざい会（ﾚｸﾘｴｰｼ ｮﾝ）	消防設備点検
8 月	千灯呂まつり見学	電気点検	2 月	節分豆まき	消防設備査察
9 月	敬老祝賀会 江小児童手紙交流	電気点検 夜間消防避難訓練	3 月	ひな祭り	建物点検 非常灯点検 合同避難訓練

・（随時開催）誕生会・入居者の誕生月 （会食・レク） ・毎月の制作（貼り絵等）

宇久地域包括支援センター事業報告

宇久地域に暮らす高齢者の相談窓口として、高齢者自身の意見を尊重し、自助努力を基本に住み慣れた環境の下で、自分らしい生活を維持できるよう支援に努めた。

また、宇久地域包括ケア会議及び地域ケア会議を年4回開催し、地域の高齢者を支える関係機関との情報を共有する機会を設け、広域的な支援体制づくりに努めた。地域に出向き高齢者実態把握の実施、いきいき100歳体操普及のため自主グループ活動支援に努めた。

1 職員体制 所長（兼）1名、社会福祉士（兼）1名、主任介護支援専門員 3名

2 開所時間 9：00～18：00

※月曜日～土曜日

3 相談実績 （1）総合相談業務実績

①分類別相談件数（延べ件数）

虐待	3
権利擁護	5
消費生活	5
介護相談	54
生活不安	136
関係事業所への不満	2
ダブルケア	0
介護保険関係	76
施設入所	22
栄養相談	0
2次予防	8
その他	12
合 計	323

②相談受付状況（実件数）

※受付方法

電話	87
窓口	163
訪問	38
所内（ケアネ）	5
合 計	293

※相談者の続柄

本人・家族	131
地域	58
関係機関	75
その他	29
合 計	293

（2）包括的・継続的なマネジメント業務

（延べ件数）

医療機関との連携	14
認知症疾患医療センターとの連携	4
民生委員との連携	40
関係機関との連携	53
その他会議	108
地域活動出席	76
合 計	295

（3）指定介護予防支援業務

予防給付管理数（延べ）	496
月平均	42